

## 臨床研究に関する公開情報

平成 28 年 10 月 20 日

疫学研究とは、病気にかかることの頻度や病気の多さを調べて、その原因を明らかにする研究です。私たちは過去のカルテより得られた情報を利用して、現在まで行われた病気の診断・治療の評価を行い、より良い診断・治療法を確立し患者さんに還元できるように、下記の疫学研究を行っています。

下記の疫学研究は、兵庫県立尼崎総合医療センター倫理委員会の承認を得た後、研究責任者の管轄のもとに行われます。当院にすでに記録されている臨床情報をもとに行われるため、対象となる患者さんに新たにご負担をおかけすることはありません。

また、この研究の結果は専門の学会や学術雑誌に発表されることがありますが、対象者のプライバシーは十分に尊重され、個人に関する情報(氏名など)が外部に公表されることは一切ありません。

もし、下記の疫学研究にご自身の臨床情報を使用されることに同意されない方は、下記連絡先にご連絡くだされば、解析対象から除外させていただきます。同意されない場合でも、診療上であなたが不利益を被ることは一切ありません。また下記研究に関して、ご不明な点がございましたら、いつでも下記連絡先にお問い合わせください。

### 【テーマ】75 歳以上の高齢者気管支喘息症例の検討

#### 【目的】

75 歳以上の高齢者気管支喘息症例を retrospective に検討し、その病像の一部を明らかにする。

#### 【対象】

2016 年 7 月から 9 月の間に受診し 1 年以上の受診歴がある 75 歳以上の高齢者気管支喘息症例を対象とする。

#### 【検討項目】

- 1) 背景：性別・年齢・重症度・喫煙歴・罹病期間
- 2) CT 撮影例での気腫性変化の有無、性別・喫煙歴・治療 step との関連  
尚、CT 撮影歴は過去 2 年間までさかのぼってその有無を確認する。
- 3) 肺機能検査施行例に於ける、%VC 及び%FEV1 の推移  
尚、肺機能検査結果は、可及的にさかのぼり得る限りの過去の結果と、最も最近のものとを比較する。
- 4) 1 年間の発作の有無、性別・喫煙歴・年齢・重症度・罹病期間・吸入薬との関連  
尚、①全身性コルチコステロイドの使用(経口又は注射)または経口コルチコ

ステロイドの安定維持量の2倍量以上を3日間以上使用②喘息による入院  
③喘息による救急受診、のいずれかを「発作」とする。

**【方法】**

群間比較はカイ2乗検定を行い、平均値の差はt検定にて比較する。

**【期間】**

2016年10月13日～10月29日

**【利益相反】なし**

**【問い合わせ先】**

研究責任者:兵庫県立尼崎総合医療センター呼吸器内科 平林正孝  
〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町2-17-77  
TEL: 06-6480-7000 FAX: 06-6480-7001